

PR TIMES が NewsPicks への情報発信を本格始動

ビジネス界の専門家や著名人などインフルエンサーに向けて企業リリースを提供、話題化を促進

【トピックス】

- ・NewsPicks 初となるプレスリリース掲載アカウント(フォロワー5,000人超/10月31日現在)から、ピッカーへ情報提供
- ・テスト運用の段階で、大きな反響を得たヒット事例あり
- ・SPEEDA にも企業リリースを提供(12月開始予定)

株式会社 PR TIMES(所在地:東京都港区、代表取締役:山口拓己、東証マザーズ:3922)は、運営するプレスリリース配信サービス「PR TIMES」において、株式会社ユーザベース(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長(共同経営者):新野良介・梅田優祐、東証マザーズ:3966)のグループ会社である株式会社ニュースピックス(本社:東京都渋谷区、代表取締役:梅田優祐)が運営する、ソーシャル機能も兼ね備えた経済ニュースプラットフォーム「NewsPicks」への情報発信を本格始動したことを発表いたします。

◆上場企業 29%が利用、月間 700 万 PV 超のプレスリリース配信サービス「PR TIMES」 <http://prtimes.jp/>

◆ユーザー数 149 万人突破、ソーシャル要素も兼ね備えた経済ニュースプラットフォーム「NewsPicks」 <https://newspicks.com/>

◆導入企業 500 社超、企業・業界情報プラットフォーム「SPEEDA」 <http://www.uzabase.com/speeda/>



「NewsPicks」初のプレスリリース掲載アカウント

「PR TIMES 公式アカウント」 <https://newspicks.com/user/2172>

「PR TIMES」は「NewsPicks」の「ブランドアカウント」の仕組みを利用して、同サービス初となるプレスリリース掲載アカウントを設置し、ピッカー（「NewsPicks」でニュースをシェアしたりコメントしたりするユーザー）へ企業リリースコンテンツを介した情報提供を行います。

アクセス数や SNS シェア数などのデータにネタの話題性を加味した独自の基準で「話題のプレスリリース」を抽出し、「NewsPicks」内の「PR TIMES」公式アカウントに掲載します。

既に 3 ヶ月間のテスト運用を経て当アカウントのフォロワーは 5,000 人を突破しており、引き続き拡大中です。

ピッカーによる Pick やコメントでニュースバリュー増幅、そして拡散へ

「NewsPicks」を利用する経済の専門家やビジネスパーソンと、プレスリリース（報道機関向けの発表資料）との相性が良く、企業の第一声・公式文書としてプレスリリースを抵抗なく読んでもらえることが、3 ヶ月間のテスト運用を経て確認されました。（2016 年 7 月末にテスト運用を開始。）

掲載コンテンツをピッカーが Pick（フォロワーにシェア）またはコメントしたり、専門家がコメントしたりすることで、さらにニュースバリューを増幅させながらピッカーのフォロワーへと拡散されていきます。ピッカーには「NewsPicks」内のフォロワーに加え、Twitter や Facebook など「NewsPicks」外の SNS とも連携して伝播していく場合があり、インフルエンサーを起点にマス層まで大きく伝わる可能性を秘めています。



大きな反響を得たヒット事例

テスト運用期間にも、「NewsPicks」掲載を介してプレスリリースが大きな広がりを見せた、幾つものヒット事例が生まれました。「PANDA EXPRESS」日本進出の一報は大きな反響を得た好例です。

ラーメンの「一風堂」などをグループ傘下に持つ株式会社力の源ホールディングスが「PR TIMES」を通じて、「PANDA EXPRESS」日本1号店オープンを発表するプレスリリースを配信したのは2016年9月28日でした。同日にこのプレスリリースを「PR TIMES 公式アカウント」から「NewsPicks」内にポストしたところ、著名人や専門家を含むピッカーにコメント付きでシェアされ拡散していきました。当時はまだ日本のニュースメディアがこの話題に反応していなかったこともあり、プレスリリースが情報源として重宝されたものと考えられます。



Google アナリティクスの解析によると、この PR TIMES プレスリリースページには NewsPicks から第一波のアクセスが押し寄せされており、その後フォローを通じて Facebook へ飛び火して第二波のアクセスを形成し、拡散の輪を広げていったことが読み取れます。

恐らくこの盛り上がりを受けるかたちで、9月30日には LINE NEWS DIGEST (LINE ユーザー2100万超がフォロー) の昼刊の画像付きトップニュースで「PANDA EXPRESS」日本進出が報じられ、その情報ソースとして「PR TIMES」プレスリリースページがリンクされました。これにより、デジタル空間のマス層へと浸透することとなりました。(注: LINE NEWS は PR TIMES パートナーメディアであり、NEWS の情報ソースとして PR TIMES が引用されることがあります。)

最終的にこの「PANDA EXPRESS」日本進出のプレスリリースは、「NewsPicks」上で190超のPick、140超のコメント、「PR TIMES」上のアクセス数19万PV超、Facebook いいね！3万超を記録しています。(2016年10月31日時点)

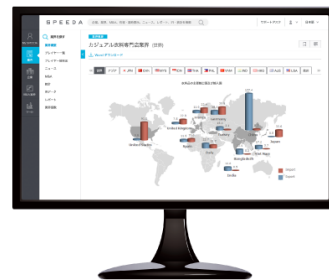
全米 No.1 店舗数のアメリカンチャイニーズが日本進出！ 力の源 HD、Panda Restaurant Group, Inc.と合併事業開始

「NewsPicks」掲載ページ <https://newspicks.com/news/1803397>

「PR TIMES」プレスリリースページ <http://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000043.000015834.html>

SPEEDAにも企業リリースを提供(12月開始予定)

企業・業界情報プラットフォーム「SPEEDA」に対しても「PR TIMES」からプレスリリースコンテンツを提供することが決定しました。企業・業界の分析にプレスリリース情報を活用いただけるようになります。掲載開始は2016年12月を予定しています。



SPEEDA

アジア最大級、
世界200ヶ国の
企業・業界を検索

今回の提携により、「PR TIMES」パートナーメディアは総計 88 メディアとなりました。

PR TIMES パートナーメディア

The image displays a collection of partner media logos categorized into ten groups:

- ビジネス・マネー**: 東洋経済 ONLINE, DIAMOND Online, 現代ビジネス, PRESIDENT Online, JBPR TIMES, Bloomberg.co.jp, THE BRIDGE, 四季季報, みんなの株式, C'minkabu, goo!ビジネスEX, @nifty ビジネス, 財経新聞, IBTimes, IP, BtoBプラットフォーム, NEWS PICKS, SPEEDA (2016年12月開始予定)
- 新聞・総合ニュース**: 産経ニュース, YOMIURI ONLINE, 朝日新聞 DIGITAL, JIJI PRESS, AFP, 日経テレコン, 時事通信社, iz*, dot., LINE NEWS, Google, exeite, Infocook NEWS, BIGLOBE ニュース, OKWAVE Guide, Fresh, Mapion, NEWS GATE, medijaan, ジョルダンニュース, てれまが
- スポーツ・車**: NumberWeb, Response, SNOWSTEEZ
- ファッション・美容**: CREA WEB, 美STYLE, SJ, eltha, FORM, JOSHI+, 美LAB.
- マーケティング**: MarkeZine, ferret, AdGang, BuzzGang
- IT・ガジェット**: chibet Japan, REB3TODAY, ZD Net Japan, INTERNET COM, ESON Magazine, EL, SEQ TOOLS, Bizloop, TECHABLE, techjo
- トレンド・エンタメ**: ORICON STYLE, withnews, BESTTIMES, CinemaCafe.net, 00000, INSIDE, アニメアズミ, Gamepark, 経世新聞, CMJapan, LIVEHOUSE.COM, Ranking Share
- グルメ・ライフ・カルチャー**: antenna, @DIME, 一人, えんかへ, えんかす, OLIVER, dracy, 30min., jijicam, ResoMom, 大学times, STRAIGHT PRESS
- LIFESTYLE**: (This category is represented by a large green circle on the right side of the grid.)

2016.10

今後も PR TIMES では、より広範なステークホルダーへ企業情報を見やすくストレートに伝えるルートの開拓、さらには企業情報がニュースとして記事化される機会の最大化を目指し、外部メディアと連携しながらプレスリリースの情報価値を高める活動を行ってまいります。

【株式会社ユーザーベース】

URL: <http://www.uzabase.com/>

【SPEEDA】

URL: <http://www.uzabase.com/speeda/>

【NewsPicks】

URL: <https://newspicks.com/>

【「PR TIMES」について】

URL: <http://prtimes.jp/>

「PR TIMES」は、2007年4月のサービス開始より、報道機関向けの発表資料(プレスリリース)をメディア記者向けに配信する機能と、「PR TIMES」およびパートナーメディアに掲載する機能をセットで提供してまいりました。利用企業数は2016年10月に15,000社に到達、国内上場企業29%超に利用いただいています。サイトアクセス数も伸張しており、2016年9月には初の700万PVを突破し月間738万PVを記録しました。配信プレスリリース本数も増加しており、2016年9月は過去最高の月間6,986本を記録しています。大企業からスタートアップまで導入・継続しやすいプランと、報道発表と同時に生活者にも閲覧・シェアしてもらえるコンテンツ表現力を支持いただき、成長を続けています。2016年9月末には新バージョンを公開しました。(運営: PR TIMES)

PR TIMES

【株式会社 PR TIMES 会社概要】

会社名 : 株式会社 PR TIMES (東証マザーズ 証券コード: 3922)

所在地 : 東京都港区南青山 2-27-25 オリックス南青山ビル 3F

設立 : 2005年12月

代表取締役 : 山口 拓己

事業内容 : プレスリリース配信サービス「PR TIMES」(<http://prtimes.jp/>)の運営

オンライン上で話題化を図るデジタル PR の戦略立案・実施

WEB クリップングサービス(<http://webclipping.jp/>)の提供

ソーシャルメディアユーザーのためのモニターサービス「conecc」(<https://conecc.jp/>)の運営

ブログマーケティングサービス「ブログタイムズ」(<https://blogtimes.jp/>)の運営

カスタマーリレーションサービス「Tayori」(<http://tayori.com/>)の運営

URL : <http://prtimes.co.jp/>

